

令和7年度愛知県立南陽高等学校推薦選抜実施要項

1 出願資格

本校総合学科の推薦選抜に出願することのできる者は、次の(1)から(3)までの全ての条件及び「2 推薦基準」を満たし、中学校長（義務教育学校及び中等教育学校の校長を含む。以下同じ。）の推薦を得た者とする。

- (1) 令和7年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者、又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者
- (2) 本校総合学科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (3) 人物及び学習成績が優れていること。

2 推薦基準

- (1) 「㉞ 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校総合学科の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 運動に関する基準

- (ア) 全国大会、地区（東海・中部）大会、県大会出場及びそれに準ずる者、又は出場を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者。
- (イ) 市大会入賞、区大会上位の成績及びそれに準ずる者、又は出場を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者。
- (ウ) 新体力テストの総合評価がAの者など、運動面で優れた能力を発揮した者。
- (エ) 部活動で3年間意欲的に活動し他の模範となる者。

イ 文化・芸術に関する基準

- (ア) 全国大会、地区（東海・中部）大会、県大会出場及びそれに準ずる者、又は自身の特技の更なる向上を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者。
- (イ) 市大会入賞、区大会上位の成績及びそれに準ずる者、又は自身の特技の更なる向上を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者。
- (ウ) 漢字検定・英語検定等の3級以上を取得した者。
- (エ) 部活動で3年間意欲的に活動し他の模範となる者。

ウ 奉仕活動等に関する基準

- (ア) 校外の奉仕活動に積極的に参加し、著しい実績のある者。
- (イ) 生徒会活動等の役員としてリーダーシップを発揮し、その実績の著しい者。
- (ウ) 総合的な学習の時間において優れた成果をあげ、その実績の著しい者。

- (2) 「㉟ 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校総合学科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者

又は志願者が「令和7年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。

(3) 「㊦ 人物が優れており、『調査書情報』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」として、次の事項に該当すること。

ア 調査書情報の「学習の記録」の評定が、どの教科においても、概ね良好で、粘り強く学習に取り組むことができること。

(4) 本校の推薦選抜において特に重視すること

ア 学習にまじめに取り組むことができ、部活動にも積極的に参加し、活動する意欲があること。

イ 総合学科に興味、関心を持ち、上級学校への進学や就職、資格取得などに積極的に取り組む意欲があること。

ウ 平素の高校生活を良好に送ることができ、学校行事や生徒会活動、地域における活動などに主体的に取り組むことができること。

3 合格者数

推薦選抜の合格者は、本校総合学科の募集人員の30%程度から45%程度とする。

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。

4 出願の手続き

令和7年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項による。

5 面接の実施期日

令和7年2月6日（木）

なお、集団面接で行う。

6 合格発表の日時及び方法

令和7年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項による。

7 検査当日の留意事項及び合格者登校日の日程等

(1) 検査当日の留意事項については、出願受付締切日の翌日までに、本校ウェブページに掲載するので、志願者は必ず確認すること。

(2) 合格者登校日の日程等については、一般選抜の合格発表日までに、本校ウェブページに掲載するので、合格者は必ず確認すること。

(URL : <https://nanyo-h.aichi-c.ed.jp/cms/>)

